

令和4年 11 月 25 日

福生市議会議長 清水 義朋 様

横田基地対策特別委員会  
委員長 小林 貢

### 令和4年度 福生市議会 横田基地対策特別委員会視察報告書

本委員会は、令和4年度行政視察を次のとおり実施しましたので、報告いたします。

1 視察日程:令和4年 10 月 31 日(月)～11 月1日(火)

2 視察先及び目的

(1)10 月 31 日(月)愛知県小牧市 航空自衛隊 小牧基地

・小牧基地について施設内や航空機の視察

(2)11 月1日(火)愛知県小牧市役所

・小牧市の基地対策について

3 視察参加者(12 名)

委員長 小林 貢

副委員長 青木 健

委員 石川 義郎

委員 五十嵐みさ

委員 市毛 雅大

委員 市川 佳樹

委員 幡垣 正生

委員 武藤 政義

委員 串田 金八

議長 清水 義朋

随 行 議会事務局次長 大川 健治

随 行 議会事務局主査 宮脇 仁美

## (1) 愛知県小牧市 航空自衛隊 小牧基地視察【10月31日(月)】

### ①小牧基地概要

小牧基地は、愛知県小牧市春日寺1-1に所在し、第1輸送航空隊等が配備されている航空自衛隊の基地。

隣接する名古屋飛行場の滑走路を使用している。

基地司令は、第1輸送航空隊司令が兼務。

航空自衛隊小牧基地は東海エリアの中心地に最も近い航空基地で、主に航空輸送や自衛隊内の各種教育の任務を担っている。

### ②【沿革及び基地関係の事故等】

昭和19年 2月 昭和17年から旧陸軍が名古屋地方防空飛行場として工事着手し、「小牧飛行場」として完成

滑走路 1,500m

昭和20年 8月 終戦とともに米軍が接收

昭和22年 5月 米軍基地として使用開始、施設の整備拡張開始

5期工事まで 昭和32年に滑走路 2,740m

昭和28年 4月 日航が東京－名古屋－大阪路線運航開始

昭和29年 3月 日ペリ(現ANA)が東京－名古屋－大阪路線就航

昭和32年 9月 空港ターミナルビル完成(東京に次ぎ全国 2番目)

昭和33年 5月 航空自衛隊第3航空団、小牧へ移動

昭和33年 8月 運輸省と防衛庁の共同使用開始

9月 米軍より正式返還

昭和34年 5月 航空自衛隊「小牧基地」開庁

昭和35年 4月 第2種空港に指定、名称が「名古屋空港」に

昭和40年 3月 第3航空団F86戦闘機が離陸直後に畑に墜落、市民1名死亡、1名軽傷

昭和41年 3月 国際線初就航(日航:名古屋－台湾－香港線)

昭和42年 5月 運輸省と防衛施設庁とで騒音対策の覚書協定

昭和44年 6月 国内線ジェット旅客機初就航

昭和49年 7月 F86戦闘機が、故障のため基地へ帰投直前に民家に接触して墜落、市民2名、通行人1名死亡

昭和51年 防衛施設庁による住宅騒音防止工事開始

昭和52年 4月 東亜国内航空が初就航、国内主要三社が揃う

10月 日航、大韓航空が国際線定期便就航

昭和53年 3月 航空自衛隊第3航空団が三沢へ移転

4月 " 第1輸送航空隊が新編される

11月 キャセイ・パシフィック航空就航

昭和 54 年 4 月 騒音対策事業が防衛施設庁から運輸省へ移管  
5 月 航空機騒音防止法に基づく「特定飛行場」に指定  
7 月 航空機騒音防止法に基づく騒音対策に係る区域指定

昭和 57 年 3 月 騒音対策に係る区域の拡大

昭和 60 年 7 月 新国内線ターミナルビル完成

平成 11 年 4 月 新国際線ターミナルビル供用開始

平成 6 年 4 月 中華航空 140 便(A300-600R)が着陸進入中に失速し、滑走路東側に墜落  
炎上。乗員乗客 264 名死亡、乗客7名重傷。

平成 17 年 2 月 中部国際空港開港により供用廃止(17 日)  
「愛知県名古屋飛行場(県営名古屋空港)」として供用開始(17 日)

4 月 騒音対策事業が国土交通省から愛知県へ移管  
住宅騒音防止対策事業区域は約8分の1に縮小

平成 18 年 10 月 小牧基地に航空機動衛生隊が新編される

平成 19 年 10 月 三菱重工業で定期修理を終えたF2戦闘機が離陸に失敗し、滑走路上に墜  
落炎上、乗員2名重傷

平成 20 年 2 月 空中給油・輸送機1号機が飛来(21 年度までに4機配備)

平成 21 年 3 月 第1輸送航空隊に 404 飛行隊発足(KC-767)

平成 21 年 5 月 小牧基地開庁 50 周年

平成 22 年 4 月 日本航空が名古屋空港から定期便の全面撤退を発表

平成 22 年 10 月 フジドリームエアラインズの福岡線が就航

平成 23 年 3 月 日本航空の全路線運休

平成 23 年 5 月 航空自衛隊側に新管制塔が完成

平成 23 年 9 月 新管制塔運用開始(航空自衛隊小牧基地内)

平成 24 年 7 月 展望デッキを再開設

平成 27 年 3 月 小牧基地の航空祭において、44 年ぶりにブルーインパルスの展示飛行が  
行われる

平成 27 年 11 月 国産初のジェット旅客機MRJが初飛行

平成 28 年 4 月 国産のステルス実証機X-2が初飛行

平成 29 年 6 月 F-35 初飛行試験

令和 2 年 7 月 三菱重工業小牧南工場におけるF-35 の機体の整備拠点(リージョナル・  
デポ)について態勢構築が完了

③名称＝名古屋飛行場(通称:県営名古屋空港)

④設置・管理者＝愛知県

- ⑤指定管理者＝名古屋空港ビルディング(株)
- ⑥位置＝愛知県西春日井郡豊山町豊場(行政区域：豊山町、小牧市、春日井市、  
名古屋市の3市1町)
- ⑦標高＝14m
- ⑧滑走路＝長さ 2,740m 幅 45m
- ⑨エプロン＝面積：約 24ha  
コンピューター・ビジネス機用：28(＊27)スポット  
小型機用：65(＊63)スポット  
＊同時に駐機可能な最大スポット数
- ⑩総面積＝約 172ha
- ⑪供用開始＝平成 17 年2月 17 日
- ⑫運用時間＝午前7時から午後 10 時まで
- ⑬管制業務＝防衛省による飛行場管制業務・着陸誘導管制業務  
(航空自衛隊小牧管制隊)
- ⑭利用状況＝定期便：8路線 24 往復／日  
就航先：青森・花巻・新潟・山形・出雲・高知・福岡・熊本  
旅客者数：約 50 万人(令和3年度実績)  
着陸回数：民間機 約 20,070 回(令和3年度実績)  
自衛隊機 約 9,910 回(令和3年度実績)
- ⑮部隊の主な内容  
【第1輸送航空隊】  
この部隊は、空中給油や輸送機を運用する 401 及び 404 飛行隊が所属し、空輸任  
務や基地に関わる業務を担っている。  
ア. 飛行群  
第 401 飛行隊(C-130H / KC-130H) コールサインは「CAMEL」、部隊名は  
「ヘラクレス」

イ. 第 404 飛行隊(KC-767) コールサインは「COBBY」

ウ. 整備補給群

エ. 基地業務群

#### 【航空救難団整備群】

この部隊は、全国各地の救難隊及び飛行点検機の定期検査を一手に引受け、救難機等の整備員教育を行っている。

#### 【救難教育隊】

この部隊は、救難の任務に関わる搭乗員(救難機パイロットや救難員など)の育成を行っている。

救難教育隊(U-125A / UH-60J)

#### 【小牧管制隊】

この部隊は、県営名古屋空港に離発着する航空機の管制業務を行っている。

#### 【小牧気象隊】

この部隊は、気象観測を行い気象情報をパイロット等に提供している。

#### 【航空機動衛生隊】

この部隊は、機動衛生ユニットと呼ばれる専用コンテナを運用し、重症救急患者を遠隔地に搬送する等の任務を担っている。

#### 【第5術科学校】

この部隊は、戦闘機を誘導する要撃管制官や、陸海空自衛隊の航空基地で管制業務を行う航空管制官の教育を行っている。

#### 【防衛大臣直轄】

(航空警務隊)小牧地方警務隊

#### 【自治体の航空隊】

愛知県防災航空隊

#### 【航空自衛隊小牧基地 視察成果とまとめ】

航空自衛隊小牧基地は、日本列島の東西を結ぶ交通の要衝に設けられ、災害派遣や国際援助活動等、航空自衛隊の航空輸送の任務を担っている基地です。

また、各種教育や重症病患者の搬送などの任務も担っています。

現在の日本を取巻く安全保障は厳しく、在外邦人輸送等は国内だけではなく、国外にも及んでいます。

小牧基地では、これらの任務を遂行するための管制隊や気象隊施設、小牧基地にしかない空中給油機や輸送機、消防隊、救難機(ヘリコプター)等、視察を行いました。

管制室では、管制隊員が24時間体制で滑走路の安全を確保しており、電子化された離着陸誘導や目視も含めた任務を間近で見ることができました。

気象室では、気象環境の操縦への影響を防ぐため、隊員が気象情報をパイロット等に提供する任務を視察いたしました。

空中給油機は、世界で8機しかありませんが、その内の4機が日本で運用されています。空中給油機は輸送機としても利用されており、人や物資などの輸送も行っており用途は多様です。機内視察・コックピット搭乗体験をさせていただきました。

輸送機では、機内視察・コックピット等の搭乗体験をしました。

消防隊施設では、大型放水車による模擬放水や装備品についての説明や視察を行いました。

救難機(ヘリコプター)は、機能や救助方法などの説明を受けました。

数々の機体やまた、不測の事故等へ対処するための消防設備や施設について視察し、日本の安全や県営名古屋空港の離着陸の安全確保の一翼を担っている当基地の任務や機能について学ばせていただきました。

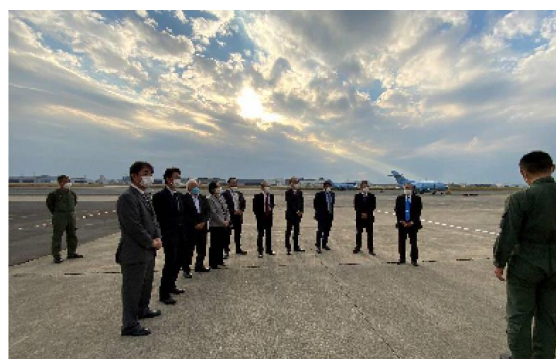
K/C-130H 輸送機 ↓



大型放水車 ↓



救難機(ヘリコプター)の説明 ↓



救難機(ヘリコプター) UH-60J ↓



## (2)愛知県小牧市 小牧市役所視察【11月1日(火)】

### ①小牧市概要

小牧市は、名古屋市の北方約15キロメートル、濃尾平野のほぼ中心に位置している。

昭和30年(1955年)1月1日、小牧町、味岡村、篠岡村の3町村が合併し、人口約3万2千人、県下21番目の市として誕生。

昭和38年(1963年)には北里村と合併して、現在の市の規模となった。

昭和34年(1959年)、当地方に未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風による復興を契機に、農業依存からの転換と財政基盤の確立のため、積極的な工場誘致と大型団地の誘致を図ってきた。

高度経済成長期に入ると、中部の空の玄関名古屋空港、さらには名神高速道路・東名高速道路・中央自動車道の3大ハイウェイの結節点という立地条件にも恵まれ「小牧菜どころ米どころ」といわれたかつての田園都市から、陸上交通要衝都市の性格を有する内陸工業都市へと大きく変貌し、中部の中核都市へと発展した。

また、小牧市を大きく変貌させた事業の1つに桃花台ニュータウンの建設事業がある。

桃花台ニュータウンは、愛知県を事業主体として、322ヘクタールの新住宅市街地開発事業により開発が進められた。

さらに、平成13年には名古屋都心部と小牧インターチェンジを直結する名古屋高速道路高速11号小牧線が開通し、陸上交通要衝としての地位をさらに確固たるものとした。

一方、春の桜、夏の深緑、秋の紅葉、そして冬の雪化粧と、四季折々にその姿を変え、市民に憩いと安らぎを与えてくれるシンボル小牧山は、1563年(永禄6年)天下統一を目指す織田信長がここに築城して戦国の風雲の中に登場した。

「本能寺の変」のあと天下の情勢は再び流動。

次の覇者、豊臣秀吉が徳川家康と小牧山をめぐる攻防戦を展開した「小牧・長久手の合戦」で歴史にその名をとどめており、昭和2年には国の史跡指定を受けた。さらに、歴史的価値のある「小牧山」発祥の地である「名古屋コーチン」天下の珍祭で知られる「田縣神社の豊年祭」、ゴッホ、ピカソをはじめ、大観、劉生ら内外の高名な画家の作品収蔵で知られるメナード美術館など、小牧市は古い歴史と豊かな文化の街でもある。

また、市内最大のイベント「小牧市民まつり」や真夏の夜を彩る「こまき令和夏まつり」は毎年盛り上がりを見せ、市民のふれあいの場となっている。

#### 【小牧市の位置、地勢】



#### ②面積

62.81 km<sup>2</sup>(福生市の約6倍)

#### ③市制施行

昭和 30 年1月1日

#### ④人口(令和4年 10 月1日現在)

150,819 人(69,444 世帯)

#### ⑤議員数

25 名(現員数 23 名)

#### ⑥予算(令和4年度)

一般会計 58,475 百万円(市税歳入 32,034 百万円 構成比率 54.8%)

特別会計 26,834 百万円

企業会計 39,345 百万円

合 計 124,654 百万円



### ⑦国及び県の騒音対策の動き

- 1967年(昭和42年)5月 運輸省と防衛施設庁とで騒音対策の覚書協定  
1976年(昭和51年) 防衛施設庁による住宅防音工事が始まる  
1979年(昭和54年)4月 騒音対策事業が防衛施設庁から運輸省へ移管  
5月 航空機騒音防止法に基づく「特定飛行場」に指定  
7月 航空機騒音防止法に基づく騒音対策に係る区域指定  
1982年(昭和57年)3月 騒音対策に係る区域の拡大  
2004年(平成16年)4月 騒音対策事業が国土交通省から愛知県へ移管  
住宅騒音防止対策事業区域は約8分の1に縮小

### ⑧基地所在に伴う騒音問題及びその対策

小牧基地所属の自衛隊機に加え、隣接する三菱重工業(株)での整備点検のため飛来する自衛隊機や平成29年度より開始されたF-35Aの飛行試験による騒音がある。

また、現在の騒音対策区域は離着陸する航空機の騒音のみで区域指定がされており、地上でのエンジンランナップやエンジンテストによる騒音が加味されていない。

騒音対策としては、空港の設置管理者である愛知県が国土交通省の基準に準じて民家防音事業などを行っている。

事務については、周辺市町が担当している。

市民からの苦情はほとんどが騒音によるものであり、その都度小牧基地に連絡を行っているとのこと。

令和3年度の小牧基地における事故については、航空機のトラブルが3件あり、市及び市議会が直接申入れを行っている。

また、大きな事故発生時の対応については、設置管理者である愛知県が中心となって、医療機関や消防、警察、航空会社、周辺自治体などで組織される愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会を設置し、緊急時の対応について計画を作成するとともに、毎年1回の総合訓練と一部関係機関による随時の図上訓練を実施している。

### ⑨騒音測定の実施状況

小牧市内では、県が3ヶ所で常時監視、5ヶ所で夏季に14日間の連続測定を実施。

市では、1ヶ所で常時監視、2ヶ所で7日間の連続測定を実施。

⑩住宅防音工事・空調機(エアコン)などの更新状況

空調機の更新:令和元年度 4件

令和2年度 9件

令和3年度 5件

住宅防音工事は、平成 23 年度以降申込なし

⑪エア・フロントオアシスの設置

名古屋空港滑走路の延長線上で航空機騒音激甚地域(航空機騒音第3種区域:W95)を、国(運輸省:当時)が移転補償跡地として取得した土地を活用し、緑と水の潤いを通じ空港に親しむ親空港緑地として国の直轄事業として整備され、併せて防災機能を持たせることにより、周辺住民の生活環境の改善及び地域防災機能の向上を図ることを目的に設置。

⑫基地を抱える小牧市としての問題

主に、騒音に関する苦情であり、苦情件数は、令和元年度5件、令和2年度 11 件、令和3年度 16 件であり、苦情内容はC-130H輸送機の低空飛行・夜間訓練・エンジンランナップ・タッチアンドゴー、自衛隊機の時間外運航、飛行回数の増加、民間航空機による騒音、ヘリコプターの旋回など。

⑬申立方法

電話、メール、市民の声、来庁

⑭対応

その都度、小牧基地 基地渉外室(民間航空機の場合は名古屋空港事務所)へ口頭で要望しているが、なかなか改善されないとのこと。

⑮財政面での小牧市への影響

防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律(3・4・8・9条関係)

ア. 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金事業(8条関係)

平成 25 年度 118,933 千円、26 年度 304,034 千円

平成 27 年度以降は実績なし。

イ. 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(9条関係)

令和元年度 55,943 千円、令和2年度 57,474 千円、  
令和3年度 58,000 千円

ウ. 3、4条は該当なし

国有提供施設等所在市町村交付金

ア. 基地交付金 令和元年度 48,336 千円、令和2年度 48,885 千円、  
令和3年度 48,380 千円

⑯米軍再編について

現在、小牧基地には米軍は配備されていないが、配備されとなれば、住民にしっかりと説明し理解を求めることは必須であるとのこと。

⑰自衛隊と地域住民の交流

地域住民との交流としては、小牧基地オープンベースが毎年開催されており、交流の場となっている。

小牧市と市民が共に行う清掃活動にも多くの隊員が参加し、交流している。

⑱小牧基地との協定について

小牧市と小牧基地での災害協定は締結していない。

【小牧市役所視察成果とまとめ】

小牧市は、自衛隊機、民間航空機また、隣接する三菱重工業の騒音等が問題であり、騒音対策に苦慮しているが中々改善されない現状の説明は、福生市の騒音問題と同様であり、騒音対策の解決や改善することの難しさを学ぶところとなりました。

防衛補助については、防衛省等関係省庁へ確保のための、積極的な行動等による要請は行っていることは無いようでした。

また、比較的小牧基地を敵視したものではなく、むしろ共存・共栄によるまちづくりや行政運営がなされている印象を受け、地域や環境による見方・考え方の違いを学びました。

今回の視察を通じて得た内容については、今後基地を抱える自治体としてどのよう

に向き合っていくのかについての参考としたいと思います。

以下に当日の主な質問内容について報告します。

① 小牧基地の隊員は約 2,000 名と伺っているが、小牧市への経済効果はどうか。

回答：調査したことはないが、酒屋さんなどで、隊員が商品を購入したということは聞いている。

②小牧基地の消耗品や工事関係等の市内業者の受注のための基地への要請や実績について伺いたい。

回答：特にそのような要請行動は行っていない。受注状況も把握していない。

③ 騒音等の苦情や事件・事故における関係市町との連携は行っているか。

回答：3市1町の協議会があり、大きな問題の時には、申入れを行っている。

④航空機騒音の調査結果では、環境基準を超過している地点があるが、改善はされているか。

回答：なかなか改善されない。

意見交換終了後、小牧市庁用バスにて「防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金(416,565 千円)」を活用し建設した、「小牧市クリーンセンター(し尿処理施設)」の視察を行いました。

し尿処理施設視察(1) ↓



し尿処理施設視察(2) ↓

